

尾張徳川家の2代当主、徳川光友（1625-1700）の事績録  
記録の少ない近世初期の重要な史料！

史料募集【古記録編】近刊 ★予約募集！

ず い り ゅ う こ う じ つ ろ く  
瑞龍公実録

第213回配本（全1巻）2022年3月末刊行

徳川林政史研究所 編  
深井雅海・藤田英昭・川島孝一 校訂

ISBN978-4-8406-5213-1

A5判上製・函入・410頁 定価19,800円（本体18,000円＋税10%）

【収録年月】慶安3年（1650）～元禄14年（1701）  
解題・関係系図・年表を付録

本史料は、本多六兵衛の編纂にかかるもので、慶安3年（1650）6月、光友の藩主就任からはじまり、死去の翌年元禄14年（1701）、光友の御霊屋作事が完了するまでの期間が編年体で書かれている。その記述から光友の活動はもとより、尾張藩政の整備過程と社会情勢を窺うことが出来る。また、尾張徳川家と、幕府、諸大名や朝廷との通行関係、徳川将軍家（家光、家綱、綱吉）や水戸・紀伊徳川家、松平諸家との関係が時系列をたどりながら知ることが可能となる。

付録「瑞龍院様御代奉書並御書付類之奉書」

尾張藩が編纂した文書集で、111通を収める。

- ・徳川家康朱印状、江戸幕府老中奉書など、江戸初期の幕政に関する文書がある。
- ・徳川光圀らとのやり取りに関する文書を収める。
- ・禁裏から「中右記」「薩戒記」を借用したいという文書などが注目される。

\*編年総目録を付し、利用の便宜を図った。



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300  
pub@books-yagi.co.jp <https://catalogue.books-yagi.co.jp/> \*定価は10%税込みです。